

電気設備の年次点検時の事故で長時間停電

特別養護老人ホーム サンローズオオサカ様
<https://www.omichikai.or.jp/sunrose/>

『サンローズオオサカ』は1997年、大阪市東成区では初めて誕生した特別養護老人ホーム。

導入の目的

社会福祉法人山水学園の特別養護老人ホーム、サンローズオオサカがパーソナルエナジー・ポータブルを導入した目的は、急な停電や災害時において、高齢者の生命維持機器や施設設備の動作を確保し、安全かつスムーズな避難を可能にすることでした。

電気設備の年次点検時の事故により、5時間以上の停電を経験したことで、本当にどんな危険があるのかを身をもって体験しました。長時間停電により、吸引機や他の設備が使用不能となり、高齢者の安全に影響が出ることや、1階や特に地下は真っ暗で1メートル先も見えないのでケガをすと思いました。

この経験から、急な停電にも対応でき、かつ移動可能で大容量出力が可能なパーソナルエナジー・ポータブルの導入を決断いたしました。

課題の解決

導入の背景には、電気設備の年次点検時の事故による長時間の停電があり、介護に必要な生命維持機器やエレベーターが5時間以上使用できなくなりました。全く想定外の停電事故でした。

これにより、急を要する介護が滞り、施設全体の避難や機能の確保が困難になるといった課題が浮き彫りになりました。

パーソナルエナジー・ポータブル導入により、災害時における停電への迅速かつ確実な対応が可能となり、その手軽さや何よりも安全性の高さは他の選択肢よりも優れていると思います。

BCP対策において、導入の価値を実感しています。

導入後の効果

1. キャスター内蔵で移動が楽、高い安全性

施設は急な停電や災害にも迅速かつ確実に対応できるようになりました。

2. 停電時の通信インフラ継続

常時電力を確保し、通信の断裂を防ぐことで、施設内の機能を維持し、入居者の安全を守る手段が整いました。

3. 介護作業の効率向上と迅速な緊急時対応

移動が容易なポータブル性と無停電の特長は、介護作業の効率を向上させ、緊急時の迅速な対応を可能にしました。



竹谷 良幸 様

サンローズオオサカ 施設長

- あなたの声を（声にならない声も含め）大切に受け取る（愛）
- どんな支援も「できない」ではなく、「やってみる」から始める（挑戦）
- 仕事に誇りも持つ

以上を行動指針とし、ご利用者の可能な限りの個別支援に職員一同、努めています。